

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	緩和ケア・がん看護	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2学年	学期及び曜時限	前期	教室名	新館2階3階
担 当 教 員	大嵩 ゆき 瀬戸川 勝敬 野口 直子 福井 有里	実務経験と その関連資格	看護師 緩和ケアチーム、がん相談支援、訪問看護、ホスピスホーム 看護師 緩和ケア認定看護師		

《科目目標》

- ①終末期・難病における対象の身体的苦痛・精神的苦痛・社会的苦痛・スピリチュアルな苦痛の理解と緩和ケアについて理解する。  
 ②終末期・難病における対象へのコミュニケーション、家族ケア、臨死期のケア、倫理的問題、緩和ケアの基本的な知識や考え方を理解する

《成績評価の方法と基準》

【評価方法】 終講試験100%  
 【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満  
 【担当配点】夜久:40点、 :35点、 25点

《使用教材(教科書)及び参考図書》

ナーシング・グラフィカ 成人看護学⑥ 緩和ケア 宮下 光令編、株式会社メディカ出版  
 ナーシング・グラフィカ 疾患と看護① 呼吸器 株式会社メディカ出版  
 ナーシング・グラフィカ 疾患と看護③ 消化器 株式会社メディカ出版

《授業外における学習方法》

終末期看護、緩和ケアにおいて多くの専門用語があるため、その用語の書きだしは授業までに終わらせ、授業終了までにはまとめておく

《履修に当たっての留意点》

- ①終末期・難病・緩和ケアを必要とする患者の身体的・精神的・社会的・スピリチュアルについて、必要な看護についてじゅぐ用を通し自分の考えを述べられることを目指す

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回 講義形式	授業を通じての到達目標	1. がん患者が抱える全人的苦痛とQOLの理解 2. 緩和ケアについて知る	成人看護学⑥緩和ケア	教科書を読んで来ること
	各コマにおける授業予定	1)がん患者が抱える苦痛とQOL 2)緩和ケアとは 3)緩和ケアにおける看護師の役割		
第2回 講義形式	授業を通じての到達目標	がん患者の身体症状とその治療、看護について理解できる (p58～p138)	教科書 講義資料	がん患者の症状を調べてまとめて提出
	各コマにおける授業予定	1.身体症状 2.疼痛の治療と看護		
第3回 講義形式	授業を通じての到達目標	がん患者の身体症状とその治療、看護について理解できる (p58～p130)	教科書 講義資料	本日の授業よりがん患者の症状の追加とその内容についてまとめて提出
	各コマにおける授業予定	1.全身倦怠感の治療と看護 2.消化器症状の治療と看護 3.呼吸困難の治療と看護 4.リンパ浮腫の治療と看護		
第4回 講義形式	授業を通じての到達目標	がん治療に伴う苦痛の緩和について理解できる (p. 131～p. 165)	教科書 講義資料	がん治療の種類、薬物療法、放射線療法、造血幹細胞移植、手術について教科書を読んでまとめて提出
	各コマにおける授業予定	1.泌尿器症状の治療と看護 2.がん薬物療法に伴う苦痛と緩和 3.放射線療法に伴う苦痛と緩和 4.造血幹細胞移植の看護 5.手術に伴う苦痛と緩和		
第5回 講義形式	授業を通じての到達目標	精神症状とその治療・看護について理解できる (p. 168～p. 196) 社会的ケアについて理解できる (p. 202～p. 215)	教科書 講義資料	不安・抑うつ・せん妄・不眠、社会的苦痛について教科書を読んでまとめて提出
	各コマにおける授業予定	1.不安の治療と看護 2.抑うつの治療と看護 3.せん妄の治療と看護 4.不眠の治療と看護 1.社会的苦痛のアセスメント 2.ソーシャルサポート 3.社会的存在を支えるための支援		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	地域・在宅緩和ケアの実際について知ることができる(p. 254～p. 274)	教科書 講義資料	社会的苦痛に対する社会資源についてしらべ、まとめる
		各コマにおける授業予定	1.地域・在宅緩和ケアの現状と課題 2. 退院支援 3.在宅での緩和ケアの実際 4.在宅療養の充実のための社会資源		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. がん患者の心の反応	成人看護学⑥緩和ケア	不安・抑うつ・せん妄・不眠についてしらべまとめる
		各コマにおける授業予定	精神症状概論 不安・抑うつ・せん妄・不眠の治療と看護		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	スピリチュアリティ	成人看護学⑥緩和ケア	スピリチュアルペインについて自己の考えをまとめる
		各コマにおける授業予定	1)スピリチュアリティとは 2)スピリチュアルペインとは 3)スピリチュアルケアとは 4)スピリチュアルペインについてGWを行いまとめて発表		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. がん医療における患者・家族の意思決定の場面、時期、内容を知る 3. コミュニケーションの目的・分類と重要性、基本的なコミュニケーションスキルについて理解する	成人看護学⑥緩和ケア	がん看護、家族の意思決定、コミュニケーションについてしらべてまとめる
		各コマにおける授業予定	がん医療における意思決定 がん医療における悪い知らせ 意思決定を支えるコミュニケーション 難しいコミュニケーション		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 臨死期における特徴的な症状・対応方法について知る 2. 鎮静における倫理と検討事項について知ることができる 3. 家族看護について知ることが	成人看護学⑥緩和ケア	終末期の家族への看護についてまとめる
		各コマにおける授業予定	がん終末期の症状と全身状態、治療と緩和ケア 臨死期のケアと臨終後のケア 癌終末期の家族への看護		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	1. 緩和ケアにおける倫理的問題について理解する 2 非がん疾患の終末期の特徴を理解し、がんの終末期との違いを述べるができる 3. . 神経疾患、慢性心不全、腎不全、慢性閉塞性肺疾患、認知症の終末期の特徴と緩和ケアのポイントを理解する	成人看護学⑥緩和ケア	教科書を読んで来ること
		各コマにおける授業予定	生命倫理とは、生命倫理の4原則 インフォームドコンセント、安楽死に関する倫理的問題 非がん疾患の緩和ケアとは		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. がん治療に伴う苦痛のアセスメントと治療、看護について述べるができる	成人看護学⑥緩和ケア 疾患と看護①呼吸器	肺がんの病態を復習しまとめて提出
		各コマにおける授業予定	肺がんの病態と看護 肺がん患者の呼吸困難の緩和に事例を通して看護を考える		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. がん治療に伴う苦痛のアセスメントと治療、看護について述べるができる	成人看護学⑥緩和ケア 疾患と看護③消化器	膵臓がんの病態を復習しまとめて提出
		各コマにおける授業予定	膵臓がんの病態と看護		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. がん治療に伴う苦痛のアセスメントと治療、看護について述べるができる	成人看護学⑥緩和ケア 疾患と看護③消化器	肝臓がんの病態を復習しまとめて提出
		各コマにおける授業予定	肝臓がんの病態と看護		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ・終講試験		2つの事例の看護計画を提出
		各コマにおける授業予定	まとめ・終講試験		